

蝶ヶ岳 山行報告

【山域】 北アルプス南部

【日時】 3/17(夜)～3/20

【参加者】 CL土屋 SL佐藤 西岡 大木 斎藤(健) 井本 小原 宮城

【山行タイム】

3/17(金) 船橋 21:00～中央道～1:15 沢渡① 3:00 就寝

3/18(土) 6:00 起床～釜トンネル 7:50～9:05 大正池 9:15～10:10 河童橋 10:40～明神 11:35～徳沢 13:25～横尾 15:05 19:30 就寝

3/19(日) 4:00 起床～6:50 横尾～11:25 テン場～雪洞・テント設営～テン場 14:30～蝶ヶ岳山頂 15:18～テン場 16:00 20:00 就寝

3/20(月) 3:30 起床～テン場 6:35～8:10 横尾 8:45～徳沢 9:50～明神 11:05～12:05 河童橋 12:25～大正池 13:20～釜トンネル 14:10

【山行記録】

3/17(金) 夜9時に船橋を出て、中央道石川PAで西岡車と合流します。

この時、スマホ・腕時計を忘れた事に初めて気が付いてビックリ！

雪山なのに、記録係りなのに、あり得ないでしょう…私。猛省です。

恐縮しつつ、皆さまに写真をお願いして現地へ出発。

到着した沢渡①では、軽く宴会して仮眠を取りました。

3/18(土) 車2台で釜トンネルに荷物を運び、数人は沢渡①へ車を戻しに

帰ってタクシーで再び釜トンネルに向かいます。

SLソリに荷物を積んで、トンネル内は折り畳みカートで進みますが、出口の

ところが凍っていて、押していた数人がつると転倒。

ケガがなくて良かったです。



雪が出てきてからは、
ソリに変身

途中からトレース幅が狭まり、斜めったり緩やかながらも登り坂だったり、なかなかの重労働で交代しながらでも汗だくです。

焼岳・明神岳・前穂高岳の美しい稜線をたまに見ながら、河童橋⇒明神⇒徳沢と、ひたすら歩いて歩いて歩きます。

頑張っ歩いてやっ横尾へ到着。まだ日も高いのに、テント内では待てない人々の要望に押し切られ、配給ビールで乾杯です。

先々週、野菜の代わりに指をきざんだ私は、もちろん包丁から遠ざけられ、クラッカーに載せるだけのおつまみをおとなしく作ります。

そして、CL・Nさん・Oさん・Oちゃん達を作ってくれた、ポテサラや海鮮鍋を美味しく頂いたのです。

冬期避難小屋に3人(他の人達がいたので、こちらの方が暖かかった様です)、残り5人はテントで就寝しました。

3/19(日) はらはらと雪がちらつく薄曇りの中、避難小屋前の水場で給水(ありがたい事に冬期もOK)し、アイゼンを装着して出発します。

いきなりの急登に息が上がりますが、トレースはバッチリ。

樹林帯を進むので、全く寒くありません。

お昼に向かって天候も改善してきて、森林限界を過ぎて振り返ると槍ヶ岳は見えませんが、穂高連峰が煌めいています。

明日の朝焼けに期待しつつ、雪洞掘り・テント設営に取り掛かって頑張ること2時間、風除け完璧なテン場が完成します。

とりあえずお茶をしながら一息ついて、SL+蝶ヶ岳初登頂4人は強風の中を出発して山頂を目指しますが、視界はほとんどゼロ。

お山の午後は、天気の流れが早いですね。

テントに戻ったら、ベテランが仕上げた素晴らしい雪洞に大興奮。

加えて今夜の夕飯は、ステーキです！！

CLの用意してくれた上質肉に、OちゃんとSLの上手な焼き方・味付けで

美味しさが更にランクアップします。



Oちゃんと私は、雪洞内で軽い2次会を開催して就寝しました。

3/20(月) 昨夜の星空に、モルゲンロートへの期待が高まり早起きした我々ですが、そう簡単には赤く輝いてくれません。

でも充分すぎる美しい稜線を堪能したので、大満足です。

今日は行程が長いので、早めに下山を開始します。

横尾までは下りの為、シリセードもしながらサクサク降ります。

冬期避難小屋へデポしてた荷物を回収して、再び交代でソリを引きながら上高地を目指します。

行きより荷物が軽いはずなのに、蝶ヶ岳の急降下が地味に足に効いてくるのか、外反母趾の痛みに瀕死の私はゴールがとっても遠く感じます。

釜トンネルを抜けて乗ったタクシーで、車まで我慢できずに靴を脱いだ私は、帰宅後の数日前はロボット歩行を余儀なくされたのでした。

お天気に恵まれ、今回も美味しく楽しい山行でした。

CL、SL、皆さま、ありがとうございました。

記録：宮城



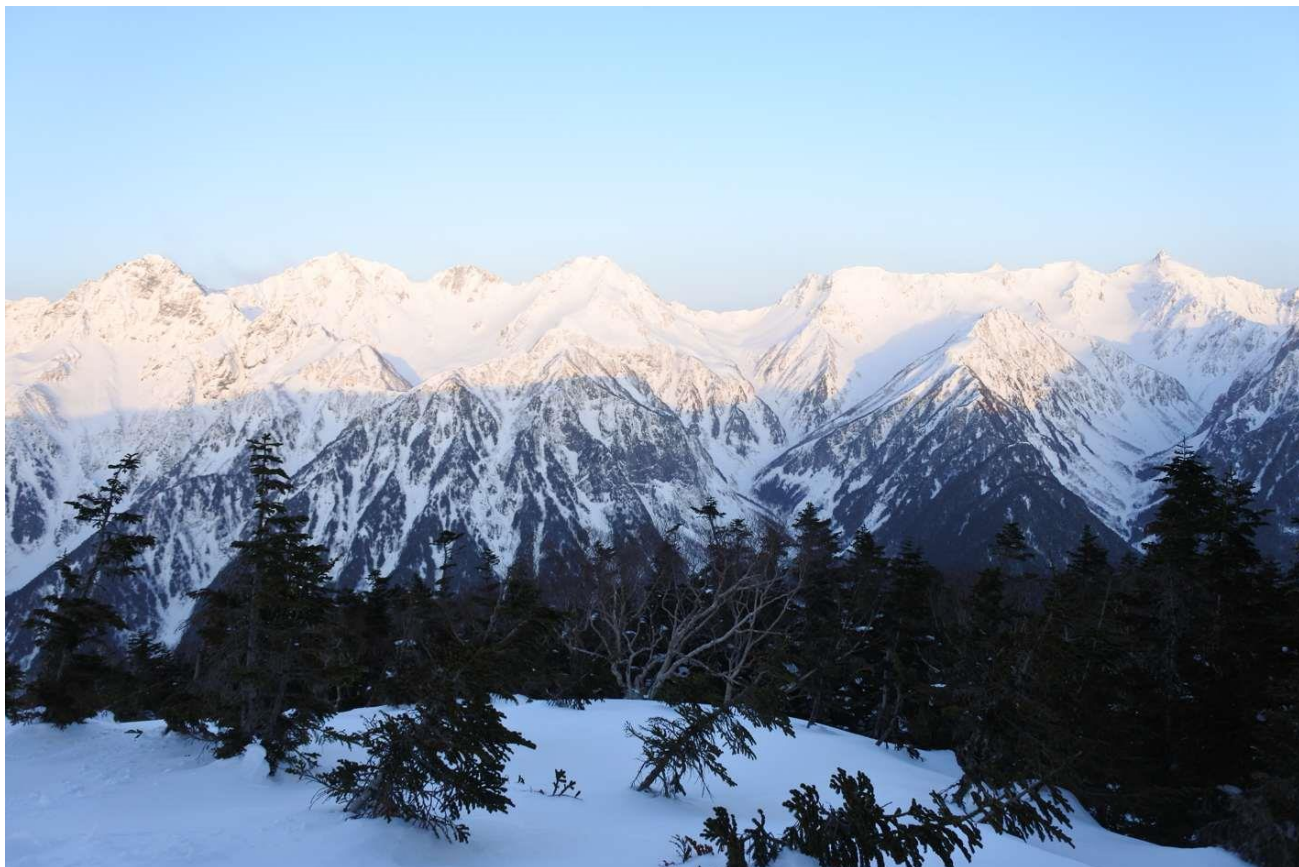
雪洞作りとテント設営



視界ゼロの山頂



もう少しでモルゲンロート！？ テン場からの眺望





河童橋から苦しい笑顔